



2011年2月22日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・広報室

オーストラリア 天然ガス液化設備に関する基本設計業務を受注

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市鶴見区 社長:久保田 隆)は CB&I 社、およびサイペム社と共同でオーストラリア ウッドサイド社が西オーストラリア州で進めているブラウズLNG(液化天然ガス)開発*1 における陸上諸設備の基本設計業務*2を受注しましたので、お知らせいたします。

*1:ブラウズフィールドで生産するガスとコンデンセートを処理する洋上諸設備と、James Price Point にLNGおよびコンデンセートの陸上生産・出荷諸設備を建設する計画。LNGプラントの生産能力は第1フェーズにて1,200万トン/年、最終的に2,500万トン/年に達する予定。尚、ブラウズフィールドには推定13.3兆立方フィートのガスと3.6億バレルのコンデンセートが埋蔵されている。

*2:基本設計業務(FEED:Front End Engineering Design)

1. 契約先 : ウッドサイド社
2. 契約内容 : LNG およびコンデンセートの陸上生産・出荷諸設備の基本設計業務。安全、環境保全、近隣コミュニティとの調和も考慮するよう要求されている。本業務完了時期は2012年中頃を予定。
3. 遂行体制 : 千代田化工建設、CB&I、サイペムで構成されるジョイントベンチャー(CJV)で実施。千代田化工建設がジョイントベンチャーリーダーを務める。
4. 本契約の背景 : ウッドサイド社は本基本設計業務を当ジョイントベンチャー以外のコントラクターにも発注し、競争環境を保ちつつ、両者の何れかに EPC(設計・調達・建設)契約を発注する方針。

以上

この件に関するお問合せ先:

IR・広報室 伊藤 健 / 高橋 昌子
電話:045-506-7538 Fax:045-506-7085
URL:<http://www.chiyoda-corp.com/>